

高松学習館運営協議会（令和5年7月）会議録概要

開催日時 令和5年7月26日（水曜日）午前9時30分～午前11時30分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

服部裕美（高松児童館）

橋本登（たちかわ市民交流大学市民推進委員会）

難波敦子（学習館利用団体）

栗原政子（学習館利用団体）

欠席3名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

おはようございます。本日は栄町支部のAIカメラを持参した。画像と音声は前回より良いと思う。地域の夏のイベントが目白押しになっていて子ども達の夏休みの生活も元に戻っている様子が伺える。

2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
 - ・「奇術初心者講習会」（6/17・6/24・7/1・7/8・7/15実施）について
団体企画型講座で例年の平日夜の実施時間を土曜の午後に変更したところ、参加申込数が多かった。小学生から大人まで楽しみながら参加でき、アンケート集計結果も好評だった。
 - ・「たちかわ市民講師フェア」（7/3～7/9実施）について
展示会、パフォーマンス、ワークショップどれも盛況だった。パフォーマンスは大人気の市民リーダーさんがいる。今回初めてプログラミングを指導してくれたリーダーさんは参加の子ども達に大好評だった。
 - ・高松寿教室「学習会」（9/6）、「日帰りバス研修」（11/8）について
学習会は地域福祉コーディネーターの吉田委員の手配で西東京調理師専門学校先生に栄養に関するテーマでお話いただけることになった。
日帰りバス研修の行先は東京お台場方面に決定し、9月から参加申込受付を開始する。
 - ・高松学習館の雨漏りについて
視聴覚室と第二教室の天井等の一ヶ月にわたっての修理が完了した。

3. 協議事項

- (1) 前回議事録（案）について 承認された。
- (2) 高松学習館の取り組みについて

- ・地域活性化事業

今後実施される事業内容について事務局より説明があった。

夏休み中の子ども対象講座の申込はどれも定員に達している。児童館で明日実施のきりえ講座、立川女子高等学校クッキング部と連携で8/4実施のクッキング講座は多く問合せをいただいた。9月実施のオール・ブリュット展示(9/6~9/19)、ワークショップ9/10、映画会9/8もぜひお出でいただきたい。10/7、10/21防災講座「いざという時在宅避難をするために」、11/11たかまつり音楽会(2部制)など実施予定。

地域活性化事業の一覧表について職員がプロジェクトでテーマ別を実施している事業は含まれていないので地運協の場で全ての事業を知ることは難しい。生涯審で評価をするにあたり、事業一覧表のまとめ方についてセンターの方で検討していただいた方がいいのではないかという意見があった。

- ・東京学芸大学との連携事業について

- ・学生さん作成の企画内容についての資料を確認しながら協議した。

- ・難波副会長が7/13学芸大で学生さん達と糸のぼんぼんの試作をした。

学生さんの方で当日までに準備するものや作業時間を確認できて良かった。

- ・前回の会議でいただいた意見を反映して当日の進行スケジュールを組んでもらっている。企画内容も整理されている。

はじめの会は学生さん主体でおわりの会は梅田会長に締めていただいたらどうかという意見があった。

- ・企画のねらいはきちんと書けている。

- ・アンケートは記入式と子どもに直接口頭で聞くやり方について確認した。アンケート記入は各会場で実施するが、口頭で感想を聞くタイミングはいつにするか、今後確認する。

- ・アンケートについては学芸大とのコラボ企画事業が今後も継続していけるように子ども目線で感想や意見を収集し、子どもの発想で次は何をしたいかなどをヒアリングできれば次年度に活かすことができる。企画のねらいが100%達成できるか、自己満足で終わってしまったらいけないということを言いたかった。子どもが主体でそのために皆で動いていく。良い評価であればそれをどのように持続させていくのか。自主的に参加してくれた子どもは良かった、楽しかったという感想が多いかもしれないが、中にはもう少しだと良かったという声があったら工夫して次回につなげることを考えていくことが大切。時間配分もアンケートを取る時はプレテストを行う。子ども対象なら事前にどこかの子ども達に作業をしてもらうとどのくらいの時間がかかるか、大人より早かったり遅かったりのタイムラグを知ることができる。低学年と高学年でも異なるのでそういったチェックポイントを入れておくといいと思う。プレテスト的なことを想定内の中でやっておくとある程度の問題はクリアできるのではないかと思う。

- ・今までプレテスト的なことは学生さん達に実習をやらせてもらって作業時間や教え方、材料準備に活かしてきているが、別の子供達に体験してもらった機会はなかった。来年度に何をしたいかを子ども達にアンケートで聞け

たらいいと思う。

- ・それぞれの企画で必要な物品については秋以降に講師の方々、学生さん、事務局で再度確認をする。
- ・広報原稿とPR ちらし作成については、全体で「クリスマスたかまつり」として、学生さん企画のクリスマスグッズづくりの他に、同時期に学習館で実施の高松児童館・図書館・学習館共催のクリスマス映画会、おはなし会を一緒に含めていただけるように依頼した。
- ・10/19に学芸大で市民リーダーさんの指導でけしごむはんこづくりの試作をする予定。実際に体験してみても子ども達の作業時間(デザインを考えたり選ぶ時間を含め)や道具についても講師や学生さん達と相談して準備調整をする必要がある。
- ・広報原稿については字数を削られることを想定してサブタイトルを決めるのは学生さんにお任せしている。
- ・ポップコーンづくりに地域のボランティアさんが参加することは可能かどうか質問があった。事前に協力団体名など確認してからお願いしたい。社会福祉協議会でボランティアさんの派遣先がなかなか見つからない状況があるが、自治会イベント等で人手が必要な場合もあるので今後やり取りをする。
- ・たかまつり当日お手伝い可能な方：梅田会長、吉田委員、栗原委員（次回再度確認する）

(3) 地運協代表者会議について(7/21 市役所にて実施)

- ・錦学習館が担当。梅田会長が出席した。難波副会長は市民リーダーの会代表として出席した。
各地運協の会議開催状況(活動状況、委員構成、会議形式など)について情報共有をした。会議は夜開催が大半。地域課題共有は各委員から最初に一言ずついただいている館もあるので参考にしたい。大学との連携や地域の人材を活用している館が多い。
- ・学習館の課題は新しい建物でも目立たない存在であること。
市民リーダーの会と市民推進委員会の代表はオブザーバーとして参加した。6人の地運協代表者なのでフランクに話せる方がいいと思う。
報償費の件は交流会で議題に挙げる。
- ・センター主催の連絡会ということだが、ただ情報共有する代表者連絡会ということだけでなく、立川市社会教育計画を今後どのようにしていくのか、社会教育委員の役割は何かということが先につながっていくと思う。
- ・1/23(火)午後、研修会を会場は市役所 101 会議室で実施予定。

(4) 地運協交流会の開催について(2/17)

- ・代表者連絡会で梅田会長より2月交流会の開催日程とテーマについて提案をした。

4. その他

- ・ 次回会議日程について確認した。
5. 地域課題共有
- ・ 児童館より 7/27 きりえ講座、8/5 ヤンシルフェスタ、8/20 花火大会開催。
11月には児童館合同ドッジボール大会がある。
 - ・ 社会福祉協議会より 8/4 ゼロ円マーケットを開催する。

以上